

キャンデリラワックス

キャンデリラ(*Euphorbia antisiphilitica*)はメキシコ北部のチワワ砂漠地方に生成する灌木植物で、この地方は夏冬ともに昼夜の寒暖の差が非常に激しく、雨も少ない過酷な自然環境下で生成しています。自らを保護するため、この植物独特の樹液を出し、自木を包み込んで過酷な昼の日照と夜の厳しい寒さから身を守っています。その樹液には少量のワックス分が含まれており、乾燥させてワックス分を抽出後、精製されたキャンデリラワックスがメキシコより出荷されています。弊社工場では輸入した原料を独自の製法で再精製し、工業用のみならず食品添加物・化粧品用にも販売しております。

キャンデリラワックスは、ワシントン条約付属書Ⅱ「Euphorbiaceae（トウダイグサ科）」に該当いたします。本品を使用した製品の再輸出につきましては、経産省への届出が必要となります。

キャンデリラの主な成分

ワックスエステル	20～26%
遊離脂肪酸	8 - 18%
遊離アルコール	8 - 13%
炭化水素	50～60%
樹脂分	12 - 15%

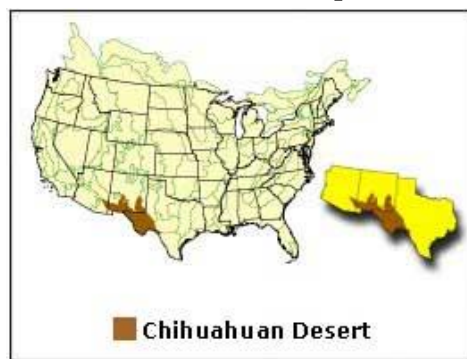
一般規格

融点	68 - 75℃
酸価	12 - 24
けん化価	43 - 65
強熱残分	0.3%以下
ヨウ素価	10 - 22

Candelilla Plant



チワワ砂漠 Map



製品写真
フレークス

